

## 米国メジャー企業債ファンド

(愛称) 米国メジャー

追加型投信／海外／債券

第3期 2019年2月4日決算

作成対象期間 (2018年8月4日～2019年2月4日)

第3期末 (2019年2月4日)	
基準価額	9,632円
純資産総額	252百万円
第3期	
騰落率	+1.4%
分配金	15円

\*騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力\*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス  
<https://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：(電話番号) 0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで(土、日、祝日除く。)

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国メジャー企業債ファンド(愛称：米国メジャー)」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、米国メジャー企業債マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

大和住銀投信投資顧問株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友D Sアセットマネジメント株式会社となる予定です。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

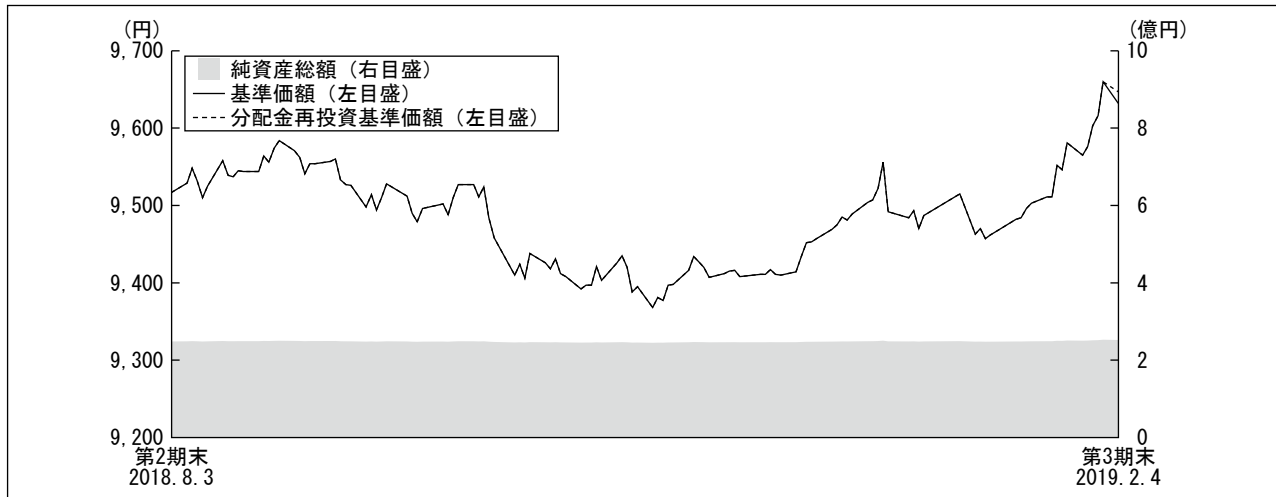


## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第3期首：9,517円

第3期末：9,632円（既払分配金 15円）

騰落率：+1.4%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米国メジャー企業債マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行いました。

（上昇要因）

社債のインカムゲインが要因となりました。

（下落要因）

米ドルの対円での下落が要因となりました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2018年8月4日～2019年2月4日		
	金額	比率	
信託報酬	36円	0.378%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,502円です。
(投信会社)	(17)	(0.181)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(17)	(0.181)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.016	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.011)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	37	0.394	

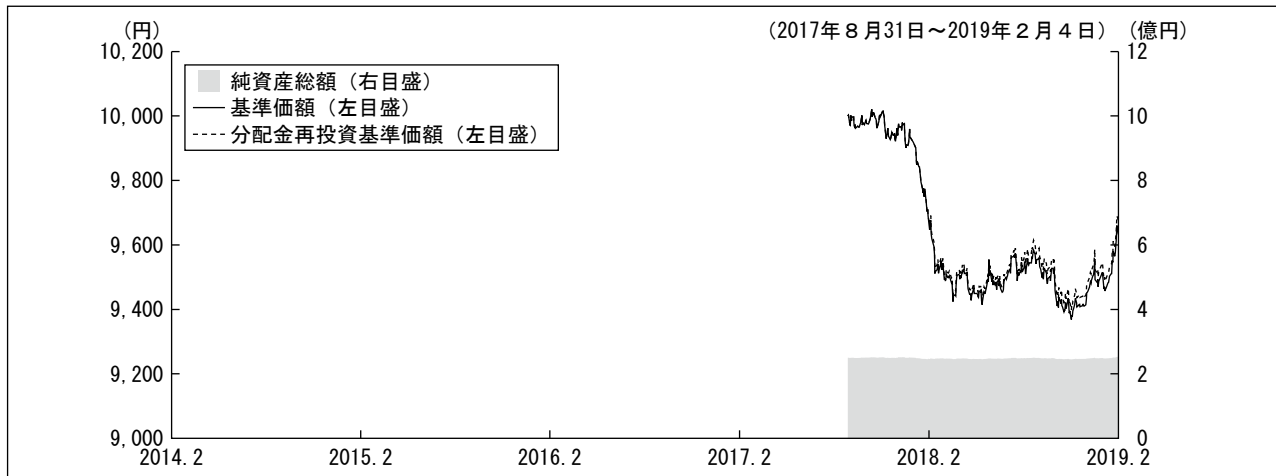
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日(2017年8月31日)より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2017年8月31日 設定日	2018年2月5日 決算日	2019年2月4日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,647	9,632
期間分配金合計(税込み) (円)	—	15	30
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△3.4	0.2
純資産総額 (百万円)	250	245	252

## 【投資環境】

米ドル建て社債のスプレッドは拡大した一方、ベース金利に相当する米国債利回りは低下した結果、社債利回り（社債価格）は横ばい圏となりました。また、米ドルは対円で下落しました。

社債スプレッドは期初、堅調な米国の経済指標を背景に、低位で落ち着いた推移となりました。しかし、2018年10月以降、米企業の決算発表で米中貿易摩擦などを背景に先行き不透明感が示されたことや、米経済指標が鈍化の兆しが見られたことを背景に株式市場が下落し、社債市場でもスプレッドがワイド化傾向となりました。その後、年末にかけてスプレッド拡大が加速したものの、2019年1月初めにパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げ継続に柔軟な姿勢を示したことで期末にかけて社債スプレッドは縮小方向に転じました。

## 【ポートフォリオ】

### ■米国メジャー企業債ファンド

主要投資対象である米国メジャー企業債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は95.7%としました。

### ■米国メジャー企業債マザーファンド

当期の騰落率は、+1.3%となりました。

米国の優良企業が発行する米ドル建て社債に投資を行い、安定したインカムゲインの確保を目指しました。セクターアロケーションにおいては、特に安定したキャッシュフローの創出が期待できる生活必需品セクターやヘルスケアセクターへの配分を高位に維持しました。個別銘柄では、スプレッドの拡大を警戒し2018年11月にイーライリリーの社債を売却することで、社債のエクスポージャーを引き下げました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り15円（税込み）とさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第3期	
	2018年8月4日 ～2019年2月4日	
当期分配金 (円)		15
(対基準価額比率) (%)		0.16
当期の収益 (円)		15
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		249

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。  
 ※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■米国メジャー企業債ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■米国メジャー企業債マザーファンド

社債スプレッドは2018年後半の急拡大後、2019年1月以降はFRBのハト派化と株式市場の反発を背景に、急速に縮小しています。しかし、経済指標からは中国の経済成長の鈍化が示され、米国も税制改革の景気浮揚効果が剥がれることで、2018年半ばまでの好調さに陰りが見えている状況です。米中貿易摩擦問題や、米国の一部政府機関の閉鎖問題など政治的なリスクも残ることから、2019年後半にはスプレッドのワイド化が再開すると予想しています。当ファンドでは、引き続き、キャッシュフローの安定している発行体の社債を中心に投資を行っていく方針です。

## お知らせ

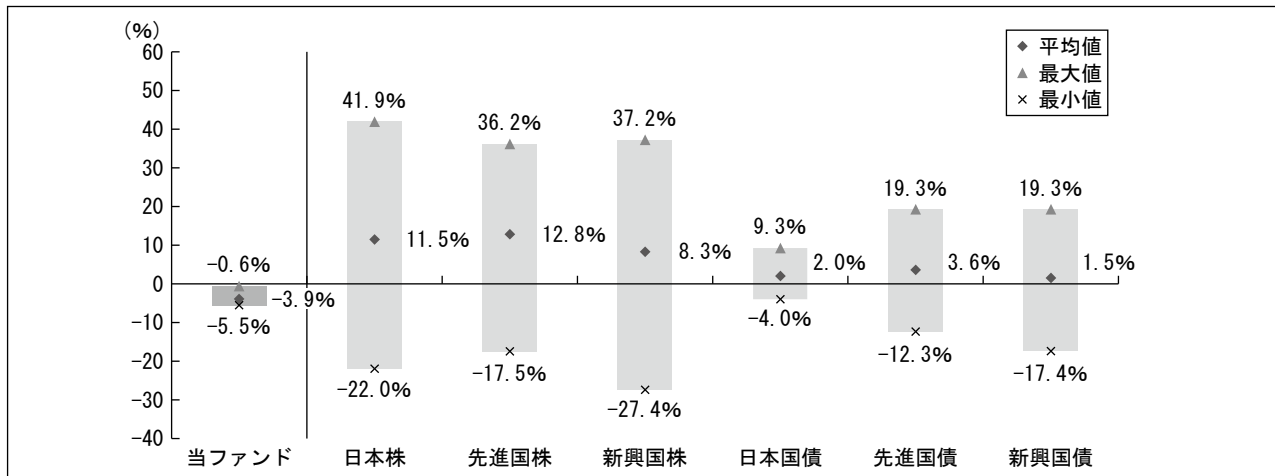
該当事項はございません。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2017年8月31日～2027年8月3日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	米国メジャー企業債マザーファンド受益証券
	米国メジャー企業債マザーファンド	優良企業の発行する米ドル建ての社債
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用はファミリーファンド方式で行います。</li> <li>・「メジャー企業」とは、財務基盤、収益性、企業価値等を総合的に判断し、広く市場で認知されていると大和住銀投信投資顧問が判断する企業を指します。</li> <li>・一部、米国以外の企業が発行する債券にも投資する場合があります。また、米国内債に投資する場合があります。</li> <li>・投資する債券の格付けは、原則として、取得時においてA格相当以上とします。</li> <li>・実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行い、為替ヘッジ比率は原則として80%程度とします。</li> <li>・市場環境によっては大和住銀投信投資顧問独自の判断で、為替ヘッジ比率を100%程度まで引き上げる場合があります。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年2月、8月の3日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2018年8月～2019年1月  
 代表的な資産クラス：2014年2月～2019年1月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。



## 当該投資信託のデータ

### <<当該投資信託の組入資産の内容>>

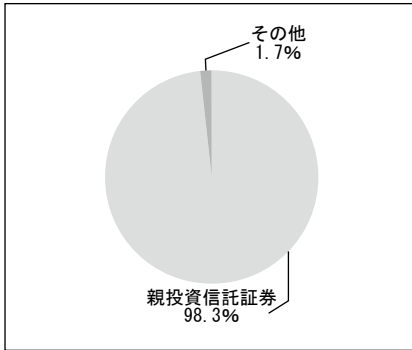
#### 【組入ファンド】

	第3期末（2019年2月4日）
	組入比率
米国メジャー企業債マザーファンド	98.3%

\*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### 【資産別配分】

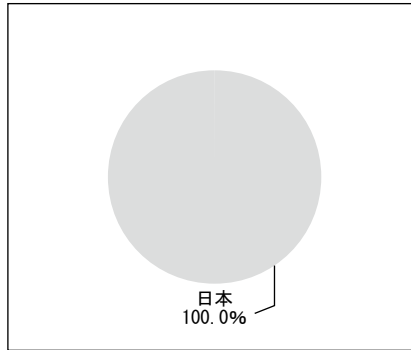
(2019年2月4日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

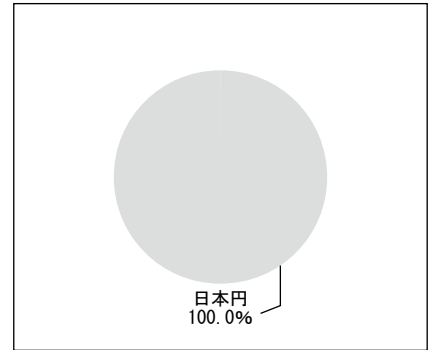
(2019年2月4日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2019年2月4日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【純資産等】

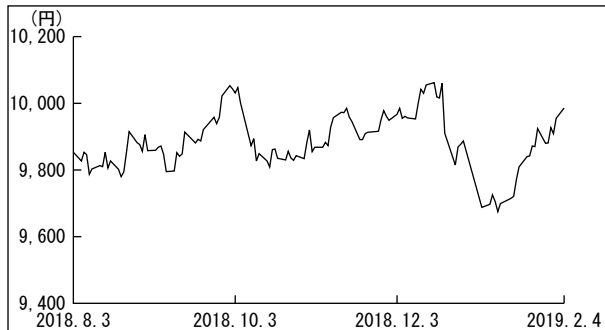
項目	当期末
	2019年2月4日
純資産総額	252,074,922円
受益権総口数	261,703,997口
1万口当り基準価額	9,632円

\*当期中における追加設定元本額は1,366,717円、同解約元本額は576,088円です。

## <<組入ファンドの概要>>

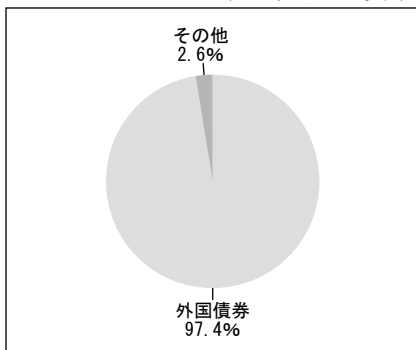
### ■米国メジャー企業債マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【資産別配分】

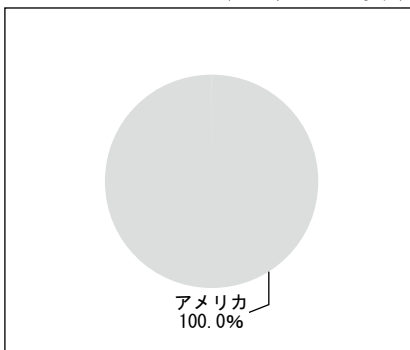
(2019年2月4日現在)



\* 純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

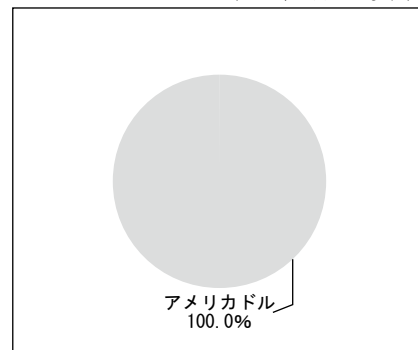
(2019年2月4日現在)



\* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2019年2月4日現在)



\* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【1万口当りの費用明細】

(2018年8月4日～2019年2月4日)

項目	金額
その他費用 (保管費用) (その他)	1円 (1) (0)
合計	1

\* 費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。  
 \* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 \* 円未満は四捨五入しています。

#### 【組入上位銘柄】

(2019年2月4日現在)

銘柄名	通貨名	比率
1 WALT DISNEY COMPANY/THE 3.15 09/17/25	アメリカドル	6.2%
2 COCA-COLA CO/THE 2.875 10/27/25	アメリカドル	6.1%
3 EXXON MOBIL CORPORATION 4.114 03/01/46	アメリカドル	6.0%
4 JPMORGAN CHASE & CO 3.2 06/15/26	アメリカドル	6.0%
5 MICROSOFT CORP 2.875 02/06/24	アメリカドル	5.8%
6 ALPHABET INC 1.998 08/15/26	アメリカドル	5.7%
7 APPLE INC 2.85 05/11/24	アメリカドル	5.7%
8 WAL-MART STORES INC 2.55 04/11/23	アメリカドル	5.5%
9 JOHNSON & JOHNSON 2.45 03/01/26	アメリカドル	5.5%
10 PROCTER & GAMBLE CO/THE 2.45 11/03/26	アメリカドル	5.5%

(組入銘柄数 19銘柄)

\* 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



**大和住銀投信投資顧問**

Daiwa SB Investments